

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みずきキッズクラブ 放課後等デイサービス事業所		
○保護者評価実施期間	2024年12月16日		～ 2024年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2024年12月16日		～ 2024年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ご家族様との情報の共有、連携	・モニタリング以外にも、ご家族様との情報の共有を送迎時等に実施している。 ・日頃できた事や困っている事、連携する事等を都度話しながら取り組んでいる。	・引き続き情報を共有し、早い段階で連携して取り組んでいく。
2	・いろいろな所に社会科見学が行ける	・長期休みの際や1日預かりの際に、進学や就労を見据え見学を実施している。 ・社会科見学をする事で、どのような仕事があるのか考えるきっかけとなればと思う。	・進学や就労に結びつく所への見学の実施。 ・ご家族様へアンケート調査等を実施し、どんな所への見学を希望するのか実施する。 ・学校と連携をし早い段階から進路を検討し、みずきでの取り組みを進路に向けてできるよう取り組んでいければよい。
3	・将来に向けた活動の実施	・将来に向けた活動の取り組み(実際就労で行っている活動等を行い、就労の幅を広げる)。 ・活動の提供(何に興味を示し集中して取り組めるか)。 ・集中し取り組めるような環境設定。	・どんな学校や就労があるのか情報の提供。 ・将来に向けた活動の取り組み(実際就労で行っている活動等を行い、就労の幅を広げる)。 ・個々の段階に合わせグループを組む等の設定をする事で、より良い支援ができる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・体を動かすには部屋が狭い	・体を動かすとなると部屋数が少ない為、思いっきり体を動かす事ができない。 ・無料施設が少ない為、無料施設を探す事が大変。しかし探しても年齢制限等があり、皆で行ける所が少ない。 ・児童と放デイの部屋が扉一枚で隔たれているだけの為、児童のお昼寝の時間は騒げない。その為、外出を余儀なくされる。	・運動できるスペースの確保。 ・有料でも安く借りれる施設を探し、ご家族様から協力を得る。 ・夏場過ごせる場所の確保。
2	・事業所外での他児との交流	・コロナ禍があり学童等へお願いするのに気が引けてしまう。 ・1日預かりの際には午後から出かける機会が多く、地域資源、社会資源を利用し、その際に事業所外の方と関わる機会を設けている。しかし、対象として同年代との関わりは薄い。	・地域資源をこれまで同様利用しながら、他者との関わりや地域の人との関わりを増やしていく。 ・さまざまな人との関わる機会づくりや人とのつながる力を育めるよう関わりを増やしていく。
3	・家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や研修会等への提供の機会がない	・研修を実施した職員が管理者のみ。 ・相談等は都度聞いており、トレーニングとしては実施していない。	・研修へ参加し知識を得る。 ・ペアレント・トレーニングの研修をする事で職員も子供たちへの正しい接し方を学ぶことができ、より良い支援につながる。